

# ☆「型枠づくりのための基本について学ぶ講習会」

型枠マイスターより、技能検定3級型枠実技試験の課題を通して、型枠づくりの基本について学びました。

「型枠ってどんなものなんだろう？」という建築科の生徒と、今度技能検定を受検する生徒たちが、先生より「型枠の基本」を学びました。型枠とは、鉄筋コンクリートの建築物をつくる時に、コンクリートを流し込む木材等を使用した枠組の事です。先生より「技能検定3級を受検する人の多くは、実技課題は1時間程度でつくるよ。」というお話に、生徒たちは、驚いていました。木材を使用しても、大工、家具、型枠とそれぞれ違いがあることが理解できたようでした。受検する生徒は、1月の受検合格に向けて練習していきます。



課題の説明では、図面の読み取りが大切。先生の実演は、早くて完成したものは美しい。



のこぎりを使ってベニヤを切ります。先生の切る姿勢をよく見て、自分たちも行います。自分が行ってみて、先生のようにできないのはどこが違うのかを考え、練習しました。

